

平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	光城山 1000 人 SAKURA プロジェクト
事業主体 (連絡先)	安曇野市 0263-71-2000 (代表)
事業区分	①地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,921,631 円 (うち支援金: 1,114,000 円)

事業内容

1. プロジェクトの開催

「桜分科会」、「動・植物分科会」、「歴史・文化分科会」、「事業推進・観光分科会」とテーマごとに各事業の推進を図るため、6回のプロジェクトを開催した。

2. 市民参加による桜の植栽

光城山中腹に60本の桜の苗木を植栽。植栽の準備と当日の植栽は、麓地域の市民参加により実施。

3. 歴史講座の開催

戦国の山城 光城山についての理解を深めるとともに、保護啓発の機会として、歴史講座を、座学編、現地編の2回に分けて開催した。

4. 「桜・SAKURA 交流会」の開催

桜に関わる団体相互のネットワークをつくとともに、地域の桜を次世代に残していくために、現状や課題を共有し、今後の活動に活かす事を目的として開催した。



【桜の植樹の様子】

【目標・ねらい】

- ①プロジェクトにより協働の基盤を強化する。
- ②プロジェクトの取り組みを通じて、光城山への関心を高める。
- ③桜に関わる団体のネットワークをつくる。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①光城山中腹への桜の植栽には、鹿の食害対策や、土壌改良等が必要であり、土や水、防護柵等、重量のある大量の資機材の運搬が課題であった。プロジェクトを通じて、麓住民(約80名)の協力で計画通りに事業を実施できた。
- ②歴史講座の開催により、光城山への関心を高めることができた。座学編には約60名、また、現地編には定員25名を超える約40名の参加があった。
- ③交流会の開催により、桜の維持管理等に携わる団体のネットワークづくりができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

麓地域の皆さんの主体的な協力により、協働の基盤づくり、またその強化を図ることができた。今後は、この基盤を基に、これまでの取り組みを活かしながら、周辺自然環境の保全や観光振興等の研究及び取り組みへと充実、発展させていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

※自己評価【 B 】

【理由】
プロジェクトによる主体的な役割分担により、事業を効果的に実施することができた。しかし、自然観察会の開催が次年度に延期となり、当初計画どおり実行することができなかった。